

学校だより 1月号 すずかけ

「心豊かで かしこく たくましい子の育成」
—温かい心と、やりぬく強さ—

市川市立鶴指小学校

令和5年1月6日

市川市大和田4-11-1

047-379-3588

児童数 450名

明けましておめでとうございます

令和5年がスタートしました。今年もつるさしっ子の健やかな成長を祈念し、あらためまして本校学校教育活動へのご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

さて、今年はウサギ年です。鶴指小の『きなこ』も元気です。ところでウサギというと頭に浮かぶのが『ウサギとカメ』のお話です。途中で居眠りをして足の遅いカメに負けてしまったウサギ。「油断大敵。コツコツ地道に努力しなさい」という内容ですが、その話に続きがあるのを最近知りました。カメに負けて仲間からバカにされていたウサギが、ウサギの森を狙うオオカミを知恵を絞って崖の近くにおびき寄せ、オオカミを崖から落としてやっつけ、村の英雄になるというお話です。か弱いウサギが強いオオカミをやっつけるということで、つくづく「油断大敵」を感じさせられました。今年の自分の抱負も『油断大敵』にしようと思います。何事も地道に一步一步取り組んでいく所存です。保護者の皆さま方におかれましては今年一年いい年となり、より一層の鶴指小学校へのご支援、ご協力をお願いして新年のあいさつとさせていただきます。



わかば学級 合同学習発表会

12月3日、わかば学級の子どもたちが、市川市文化会館で行われた『合同学習発表会』に出演しました。『合同学習発表会』は、市内の小中学校特別支援学級の子どもたちが日頃の学習の成果を発表する場です。本校わかば学級は、『おいしいカレーをつくろう』というテーマで、カレーライスについて調べたこと、インタビュー、アンケート結果をダンスも交えレポートを発表しました。



感染症対策や文化会館の改修工事もあり、3年ぶりの合同学習発表会となり、ほとんどの子どもたちが初めての出演でしたが、大きな舞台上で練習の成果を十分に発揮して頑張ることができました。

吹奏楽部 管弦楽フェスティバル

吹奏楽部（現部員数26名）も12月18日、市川市文化会館で開催された市川市児童生徒 管弦楽フェスティバルに出演しました。

お揃いのベストに身を包み、「Disney Magical March」と「アメイジング・グレイス」の2曲を演奏し、当日は中学校も参加している中、見劣りすることなく堂々と練習の成果を発揮し、力強い演奏を会場いっぱいに響かせることができました。



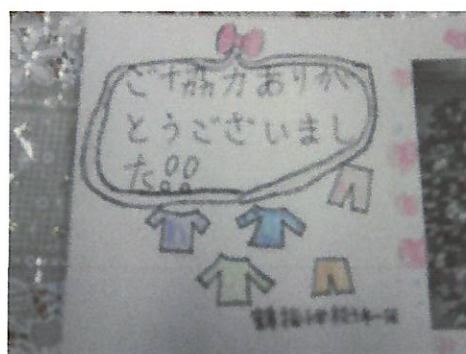
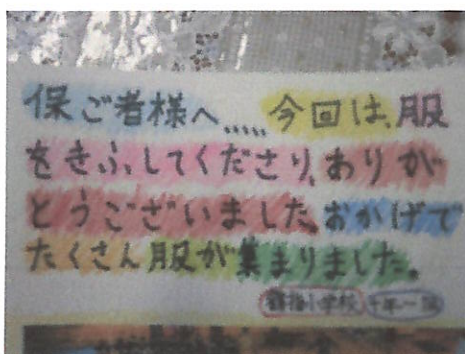
大成功、4年生「“届けよう服のチカラ”プロジェクト」

4年生が学年全体で総合的な学習の時間の単元『「SDGs」で世界とつながろう』の一環として『“届けよう服のチカラ”プロジェクト』に取り組みました。(株)ファーストリテイリング【ユニクロ・GU】の協力のもと、難民に子ども服を送る活動があることを知り、10月3日には国連UNHCR協会の方から難民についてのお話を聞き(写真①)理解を深めました。そこで『自分たちにもできること』と考え、子ども服の回収の呼びかけを通し、困っている難民の子どもたちに服を送ろう、という活動に取り組みました。

各クラス、段ボールで制作した回収ボックスを各昇降口に設置し、近隣の第八中学とつくし幼稚園にも回収ボックスを置かせていただきました。さらに校内では、朝、プラカードを持って登校する児童に呼びかけたり(写真②)、お昼の全校放送での案内、近場の商業施設にもチラシを置かせていただくなど、子どもたち自らのアイデアで協力を広く呼びかけました。また11月12日の『つるさし祭』では、作成したPR動画を校内で放映しました。(写真③)

そんな子どもたちの頑張りのもあり、日に日に家から古着を持参する児童も増え、着実に回収は進んでいきました。実質4週間に及ぶ呼びかけの元、体育館に集まった服を広げ(写真④)、サイズ、季節毎に分け、搬送用の段ボールに詰めていくと、最終的に40箱分(写真⑤)も集まり、4年生の子どもたち自身も驚くとともに達成感を感じることができました。

今後、ご協力いただいたお礼の活動や、実際に難民の人たちに服が届けられた様子なども提供いただける予定でプロジェクトは、まだまだ継続していきます。



鶴指小学校ホームページに注目👁️を。

本校ホームページでは、『鶴指ニュース』として学校だよりでは紹介しきれない日々の学校の様子や『給食ニュース』、各種お便りなどを掲載しています。感染症対策のため学校の様子を見ていただく機会が減っています。この機会にお手すきの時にはぜひ、ホームページもご覧くださいませようお願いいたします。

